

会議録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称	平成30年度 未来戦略創出会議(第7回)	
事務局(担当課)	政策経営部企画課	
開催日時	平成30年9月4日(火) 14時00分～15時00分	
開催場所	庁議室(本庁舎5階)	
議題	(1)第10回日中韓文化大臣会合等についての報告 (2)東アジア文化都市2019豊島 ひらめきコンペティションの実施について (3)平成30年第3回豊島区議会定例会提出予定案件について (4)平成30年度豊島区補正予算(案)について (5)平成29年度決算における健全化判断比率について (6)平成30年度事務事業評価の実施結果について (7)平成29年度各会計歳入歳出決算について (8)職員用名刺台紙について (9)平成30年9月～平成30年11月分イベント・事業等開催予定(情報共有)	
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長、区民部長・文化商工部長・国際文化プロジェクト推進担当部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長(欠席)・「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長(欠席)、国際アート・カルチャー都市推進室長・総務課長(欠席)・人事課長
	説明者	東アジア文化都市推進担当課長、会計課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長、主査

審議経過

(1) 第10回日中韓文化大臣会合等についての報告

説明者 資料に基づき、第10回日中韓文化大臣会合等について報告。

⇒報告のとおり了承する。

(2) 東アジア文化都市2019豊島 ひらめきコンペティションの実施について

説明者 資料に基づき、東アジア文化都市2019豊島ひらめきコンペティションの実施について説明。

東アジア文化都市事業は、日中韓の3か国で、現代文化や伝統文化等に関連する様々なイベント等の実施や東アジア域内の相互理解・連帯感の形成、国際発信力の強化を図ることを目的としている。今後この事業をオールとしまで推進するため、民間団体等と連携する公募事業を展開していく。また、公募事業以外にも、区として東アジア文化都市を推進する事業を実施していく必要があることから、各課で実施している既存事業に一工夫を加えるアイデアを募集することで、職員一人ひとりの東アジア文化都市事業参画を促し、祝祭性を創出することを目的として、本コンペティションを実施したい。

提案の着眼点として、子ども、高齢者、障害者、大学関係者、地域団体、民間企業などの幅広い区民を巻き込み、防災、福祉、保育、文化、環境、都市整備、教育などの多角的な視点から、オールとしまで東アジア文化都市事業を盛り上げることができるアイデアをご提案いただきたいと考えている。限られた財源で東アジア文化都市事業を推進していくため、ハード・ソフト両面から既存事業にスパイスを加えられる、特色あるアイデアを募集する。イベントに限らず、各部より幅広いご提案を期待したい。

⇒提案のとおり決定する。

(3) 平成30年第3回豊島区議会定例会提出予定案件について

説明者 資料に基づき、平成30年第3回豊島区議会定例会提出予定案件について説明。

⇒提案の通り決定する。

(4) 平成30年度豊島区補正予算(案)について

幹事 資料に基づき、平成30年度豊島区補正予算(案)について説明。

一般会計の補正予算総額は1,101,612千円、財源別では特定財源が635,481千円の減額、一般財源が1,737,093千円であり、経費別では事業費が1,028,520千円、投資的経費が73,092千円となっている。繰越明許費は新規2件、債務負担行為は新規8件を追加するものである。その他、国民健康保険事業会計の補正予算総額は1,720,822千円、後期高齢者医療事業会計の補正予算総額は309,514千円、介護保険事業会計の補正予算総額は1,193,508千円となっている。

⇒提案の通り決定する。

(5) 平成29年度決算における健全化判断比率について

幹事 資料に基づき、平成29年度決算における健全化判断比率について説明。

地方公共団体は、毎年度、4つの健全化判断比率を監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告し、公表しなければならないとされている。この4つの指標と2つの基準に基づき、すべての自治体を「健全段階」「財政の早期健全化段階」「財政の再生段階」の3つ

に区分することになる。健全化判断比率のうち、ひとつでも『早期健全化基準』以上である場合には、財政の健全化のための計画を定めなければならない。また、「将来負担比率」を除く3つの判断比率のうち、ひとつでも『財政再生基準』以上である場合には、財政の再生のための計画を定めなければならない。

次に、本区の健全化判断比率について報告する。平成29年度決算に基づき算定した本区の各比率は、いずれも『早期健全化基準』を下回り、『健全段階』の位置付けとなっている。実質公債費比率についてのみ、28年度決算より0.2ポイント悪化したが、実質赤字比率が0.25ポイント、連結実質赤字比率が1.82ポイント、将来負担比率2.3ポイントといずれも良化し、実質公債費率以外すべての健全化判断比率が改善された。このように、区財政は着実に改善が続いているものの、今後については、新ホールの建設や区民センターの改築、高齢化の進展や待機児童対策に伴う扶助費や繰出金の増加など多くの課題を抱えており、厳しい状況にあることは否めない。そこで、限られた財源の重点的・効果的な活用に向けて、枠配分額決定方法の見直しや廃止検討候補事業調査の実施など持続可能な行財政システムの構築を進めている。引き続き財政健全化の手綱を緩めることなく、全庁一丸となって計画的かつ健全な財政の運営に努めていく必要がある。

⇒報告のとおり了承する。

(6) 平成30年度事務事業評価の実施結果について

幹事 資料に基づき、平成30年度事務事業評価の実施結果について説明。

平成30年度の事務事業評価対象事業及び特徴について説明する。今年度は、平成30年度の新規事業および内部管理的業務などの一部を除く全事務事業630事業を対象として評価を実施した。評価の主な特徴であるが、29年度に引き続き、新基本計画の進捗管理等を目的とした「施策評価」と、従来の「事務事業評価」を組み合わせ、二階層による行政評価を実施した。また、事業区分の整理を行い、区による裁量的余地がない事業を「法定事業」、施設等の維持管理に係る予算事業のみで構成される事業を「維持管理事業」と定義した。法定事業・維持管理事業に該当する事業は、評価による事業の方向性判断が困難であることから評価対象外とすることで、評価対象事業の適正化を行った。

今後の行政評価のスケジュールであるが、施策評価の対象となっている4施策については、10月に政策評価委員会による外部評価を行い、意見等の整理を行ったうえで、12月上旬に評価を確定する予定である。

⇒報告のとおり了承する。

(7) 平成29年度各会計歳入歳出決算について

説明者 資料に基づき、平成29年度各会計歳入歳出決算について説明。

平成29年度一般会計の決算額については、予算現額が1,252億66百万円、歳入が1,201億14百万円、歳出が1,172億86百万円で、形式収支となる歳入歳出差引額は28億27百万円となった。翌年度へ繰り越すべき財源は2億43百万円であり、実質収支額は25億84百万円、実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額も同額の25億84百万円となり、実質繰越額はない。

次に、一般会計の歳入合計額であるが、予算現額は1,252億66百万円、収入済額は1,201億14百万円であり、その差額は51億52百万円の減である。款別に見た場合、その差が最も大きいのは特別区債の24億41百万円の減である。これは、決算見込みを勘案

し、起債の一部取りやめ等を行ったことによるものである。また、収入率が最も低いのも特別区債であり、同様の理由によるものである。

次に、一般会計の歳出合計額であるが、予算現額は1,252億66百万円、支出済額1,172億86百万円であり、前年度との比較では3百万円程度減少している。款別に見た場合、都市整備費の執行率が最も低くなっており、翌年度への繰越額が1億30百万円あること、特定緊急輸送道路沿道建築物耐震改修助成経費に2億15百万円の不用額が生じたことが主な要因となっている。

次に、債権別収入未済額及び不能欠損額についてであるが、強制徴収公債権は前年度と比較し、1億38百万円増加している。これは、特別区民税等は減少となったものの、国民健康保険料について2億35百万円増加したことが主な要因となっている。一方、不能欠損額は60百万円の減となっており、特別区民税や国民健康保険料の減が主な要因として挙げられる。続いて、非強制徴収公債権であるが、収入未済額が前年と比較し、7百万円増加した。これは、生活保護法による扶助費に係る返還金が40百万円減少したものの、生活保護法による扶助費の戻入未済金が30百万円増加したことが主な要因となっている。私債権については、前年度と比較し、収入未済額が67百万円減少した。不能欠損額については43百万円の増となっており、緊急雇用創出事業受託金返還金が35百万円増加したことによるものである。

続いて、平成29年度一般会計決算の概要について説明する。まず、収支の状況であるが、前年度との比較では、歳入が6.3%の減、歳出が6.6%の減となっている。決算規模が対前年度比で減となるのは2年連続である。一方、歳入は平成26年度以来4年連続で1,200億円を上回っている。歳入、歳出決算額とも最近10年間では4番目に高い額である。次に決算額の予算現額に対する収入率は95.9%、執行率は93.6%で、前年度と比べ収入率は1.4ポイントの増、執行率も1.0ポイントの増となった。最近10年間では、収入率が5番目、執行率が4番目に高くなった。形式収支は28億27百万円で、前年度と比べ2億25百万円の増、また、実質収支は繰越明許費繰越額2億43百万円を差し引いた25億84百万円で、前年度と比べ1億20百万円の増となった。また、歳入の状況であるが、特別区税は収入済額321億66百万円で過去最大となった。対前年度比は2.2%の増、額では6億98百万円の増で、歳入全体に占める構成比は26.8%となった。特別区交付金は収入済額287億99百万円で、対前年度比は5.3%の減、額では16億5百万円の減で、構成比は24.0%となった。国庫支出金は収入済額206億90百万円で、対前年度比は0.3%の増、額では65百万円の増で、構成比は17.2%となった。最後に歳出の状況であるが、義務的経費については支出済額602億79百万円で、対前年度比は6.9%の増、額では38億83百万円の増となった。また、歳出全体に占める構成比は51.4%で、前年度と比べ6.5ポイントの増となった。このうち、人件費は218億64百万円で、対前年度比は0.4%の増、額では94百万円の増、構成比は18.6%である。扶助費は335億11百万円で、対前年度比は5.4%の増、額では17億7百万円の増となり、構成比は28.6%で前年度と比べ3.3ポイントの増となった。公債費は49億4百万円で、対前年度比は73.8%の増、額では20億82百万円の増で、構成比は4.2%となった。投資的経費については支出済額143億80百万円で、対前年度比は36.1%の減、額では81億28百万円の減で、構成比は12.3%となった。その他の経費については支出済額426億26百万円で、対前年度比は8.6%の減、額では40億18百万円の減で、

構成比は 36.3%となった。

⇒報告のとおり了承する。

(7) 職員用名刺台紙について

幹事 資料に基づき、職員用名刺台紙について報告。

このたび、企画課で配布している職員用名刺台紙について、新たに「東アジア文化都市 2019 豊島」のロゴマークを表示した新デザインを作成した。「東アジア文化都市 2019 豊島」の開催に向け、全庁挙げてこの取り組みを推進していくことを目的とし、企画課では当面の間、今回作成した名刺台紙のみを作成し配布する。なお、新デザインの名刺台紙は 9 月 3 日より配布を開始している。

⇒報告のとおり了承する。

(8) 平成 30 年 9 月～平成 30 年 11 月分イベント・事業等開催予定(情報共有)

説明者 資料に基づき、その他(報告)について、説明。

⇒報告のとおり了承する。

会議の結果	<p>(1) 第 10 回日中韓文化大臣会合等についての報告</p> <p>(2) 東アジア文化都市 2019 豊島 ひらめきコンペティションの実施について</p> <p>(3) 平成 30 年第 3 回豊島区議会定例会提出予定案件について</p> <p>(4) 平成 30 年度豊島区補正予算(案)について</p> <p>(5) 平成 29 年度決算における健全化判断比率について</p> <p>(6) 平成 30 年度事務事業評価の実施結果について</p> <p>(7) 平成 29 年度各会計歳入歳出決算について</p> <p>(8) 職員用名刺台紙について</p> <p>(9) 平成 30 年 9 月 平成 30 年 11 月分イベント・事業等開催予定(情報共有)</p> <p style="text-align: right;">→(2)～(4)について決定、(1)・(5)～(9)について了承。</p>
-------	---

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・【研修案内】区長講話「東アジア文化都市大臣会合報告会」(特別研修) ・東アジア文化都市 2019 豊島 ひらめきコンペティションの実施について ・平成 30 年度第 3 回豊島区議会定例会提出予定案件について ・平成 30 年度豊島区補正予算(案)について ・平成 29 年度決算における健全化判断比率の報告について ・平成 30 年度事務事業評価の実施結果について①(概要) ・平成 30 年度事務事業評価の実施結果について②(評価結果一覧) ・平成 29 年度各会計歳入歳出決算について①(各会計決算総括説明) ・平成 29 年度各会計歳入歳出決算について②(一般会計決算の概要) ・職員用名刺台紙の配付について ・平成 30 年 9～11 月イベント・事業開催一覧
----------	--